

統計研修講義計画書

研修課程	統計専門課程 政策立案と統計	講義科目	地域施策と統計データの利 活用（豊島区）	講義時間	1コマ
講 師	酒井 和広 豊島区都市整備部都市計画課 主任				

※1コマ70分

講義のねらい

豊島区では土木・建築・都市計画の情報提供のワンストップ窓口が開設されている。そこで行った来庁者データの統計分析は、不動産関連事業者の情報ニーズの把握と業務改善を行う上での指針を与えてくれた。この結果を活用し業務データの公開へと繋げ、また公開後の統計検定により「双方の業務効率化」という形で明示することもでき、他の業務データ公開にも結びついた。今回の講義では先述の事例をとおり、身近な業務データでの統計活用とGISを活用した業務データの利活用の手法を学ぶ。

指導項目と内容

指 導 項 目	内 容
① 来庁者データの利活用によるニーズ分析手法	・地理情報システム（「以下 GIS という」）のデータと来庁者データの組み合わせによる新たなデータの作成手法を紹介する。
② クラウド GIS の利用による業務データの公開手法	・業務データを利活用し、GIS クラウド活用と職員での維持管理を可能とするモデル化及び Web アプリのテンプレート利用による業務データの公開手法を紹介する。
③ 統計ソフトを使ったEBPMにつなげる統計検定の利用法	・来庁者数の期間集計の「比率の検定」により、その差の意味を確立論で示し、経費節減を明示する手法を紹介する。
④ 利用者のアンケート調査法について	・経費を懸けないアンケート調査事例を紹介する。
⑤ 業務データ公開での注意点	・部署間に跨る業務データを1つの Web マップとして公開に繋げる「ネット上でのワンストップ化」という利用者視点の意義を実際の運用アプリから理解する。
⑥ 事例から見た、業務分析からの課題の抽出法について	・少子高齢化と情報化社会の進展に向けた業務改革について、現在の職場での検討内容を紹介し、考察していく。
⑦ 質疑応答	

講義形態 指導方法	スライド（PowerPoin）などを用いた講義方式による。
受講に必要な 基礎知識等	特になし